

日本国憲法・教育基本法・ 学校教育法・学習指導要領		北九州市 学校教育の願い どの子にも よい環境で よい教師による よい教育を	
北九州市の教育施策			
SDG s の視点を踏まえたシビックプライドの醸成 ～誰一人取り残さない教育～ 一人一人に「生きる力」を育む学校教育の創造			
第 2 期 北九州市子どもの未来をひらく教育プラン			
5つのミッション 時代を切り開く 力の育成 働きがいのある 学校づくり 安心な学びの 場づくり 市民総ぐるみでの 支援 未来を見据えた 環境整備		1 2 のアクション (1) 確かな学力の育成 (2) 健やかな体の育成 (3) 豊かな心の育成 (4) 特別支援教育の推進 (5) 大量退職・採用における教員の資質向上 (6) 学校における業務改善の推進 (7) 長期欠席、いじめ等へのきめ細かな対応 (8) 児童生徒等の安全の確保 (9) 家庭・地域・学校の連携 (10) 社会的・経済的な課題への対応 (11) 教育環境の整備 (12) 学校施設の整備	

学校教育目標
「心豊かで、自ら学ぶ、心身ともにたく ましい児童の育成」を目指す。
○基本的生活習慣を身に付け、きまりを 守り、物を大切にすること ○心身ともに健康で、意思の強い子ども ○思いやりがあり、助け合う子ども ○感動する心と感謝の心（自然・社会・ 祖先・親・教師）をもつ子ども ○よく学び、よく考え、自ら学びを活か し、伸びようとする子ども
めざす学校像
○ 安全で楽しく、地域や保護者から信 頼される学校 ○ 生きる力を育む、特色ある開かれた 学校 ○ 職員にとって、やりがいとチームワ ークのある学校 「チーム河内小」

【児童の実態】 ・真面目で素直な児童が多い反面、各学年には配慮を要する児童がいる。 ・基礎学力の定着、読解力に課題があり、学力差や学力の二極化が進んでいる。	【保護者の実態】 ・学校に協力的な家庭が多く、PTA活動もスムーズに推進できる。 ・学校に対して関心が高い。	【地域の実態】 ・豊かな自然に恵まれている。 ・学校行事等には、協力的で地域で子どもを見守ってくれる。
めざす児童像		
○意欲をもって自ら学び、確かな学力を身に付ける子ども ○自分や他者、河内のよさに気づき、自信をもって活動できる子ども ○心と体を鍛え、困難にもめげず頑張る子ども		
めざす教師像		
○子どもの成長を喜び、心身ともに健康な教師 ○確かな学力の定着のため、楽しくわかる授業の創造に努め、子どもと向き合う教師 ○専門性を高め、相互理解を図りながら協力・協働する教師		
本年度の経営にあたっての努力点		
○スクールプランの推進 ○学力・体力の向上 ○特別支援教育の充実 ○関係機関との連携（小中一貫・SSW・SC・支援室等） ○ICTの活用	○校長先生チャレンジの推進 ○河内小のよさを発信 ○体験活動の充実	

教育目標達成のための具体的方策	A 意欲をもって学び、確かな学力を身に付ける 子どもにするために	B 自分や他者、河内のよさに気づき自信をもって活動できる子どもにするために	C 心と体を鍛え、困難にもめげずがんばる 子どもにするために
	○ 「学びの質を高める授業」づくりの5つのポイント 1 学び合いの「質を高める」基盤づくり 2 めあての設定は「子どもと一緒に」 3 「問い」と「気づき」を促す発問 4 「考えを深める」話し合う活動と書く活動 5 まとめと振り返りは「子ども自らの言葉」で ・ 始業と終業のチャイムを守る。 ○ 主題研究の推進を通して、子どもの「伝える力」（表現力）を育てる。 ○ 音読暗唱ブック「ひまわり」の『校長先生チャレンジ』に取り組む。 ○ 「学年×10分+10分」を目安に家庭学習に取り組ませ、学習習慣を定着させる。 ○ 複式であることを意識した学年経営を推進する。（担任外職員との連携）	○ 豊かな体験活動と「特別な教科 道徳」の学習や人権学習を関連付け、心の教育を実践する。 ○ コグトレを朝自習やパワーアップタイムに位置付け、児童の認知機能を高める。 ○ 「心のアンケート（いじめアンケート）」に基づく個別の面談を毎月実施する。 ○ 「子どもつながりプログラム（対人スキルアッププログラム）」を意図的・計画的に実践する。 ○ 子どもと向き合う時間を大切にし、子どもの変化を敏感にとらえる。 ○ 特色ある教育活動を積極的にマスコミに情報提供し、河内小の認知度を高めるとともに、児童に愛校心や郷土愛を育む。 ○ 全校集会や縦割り活動による異年齢交流の充実。	○ コロナやインフルエンザ等の感染防止に引き続き努めるとともに、感染者や家族等に対する差別や偏見を生まない指導を心がけることにより、心身ともに健康な状態を目指す。 ○ 基本的生活習慣を確立し、健康で安全な生活を送るための実践力を育てる。 ・ 「よい子のきまり」に基づいて規範意識を育てる。 ※ 指導の温度差が出ないように努める。 ・ 虫歯を防ぐ取組を継続的に行う。（フッ化物洗口） ○ 学校給食を通して会食の楽しさを体験させ、望ましい食習慣と明るく豊かな人間関係を育てる。 ○ 体力向上の一校一取組として、「〇〇タイム」を継続する。
◆か 〔感謝の心〕 ◆わ 〔わかる・できる喜び〕 ◆ち 〔チームワーク〕			